

閉会の挨拶

札幌学院大学社会情報学部長 秋山雅彦

長時間にわたりお話しいただきまして、有り難うございました。私どもが期待していた通りのお話をいただくことができました。佐藤先生、大島先生、岩田先生、厚く御礼申し上げます。

私はただ今ご紹介いただきました学部長職を務めております秋山と申します。

皆さんは最近の報道でITという言葉を書かない日はないと思います。私どもの社会情報学部は今年で10周年を迎えました。先見の明があったといえるかと思いますが、10年も前に社会に役立つことを見通して学部を創設したことを誇りに思っております。

このチラシの中に書いてありますように、「宇宙・生命・脳の発生と進化」その下に「社会情報学へのステップ」とあります。この講演会の最初のところ

で齊藤教授が話しましたように、学部創設から10年経ちましたところで、新たな発展へのステップとしてこのシンポジウムを計画いたしました。毎年この時期に実施してきたシンポジウムは、学内に閉じたかたちで少人数で実施してきました。しかし今回は、10周年ということとともに、起源と進化の問題に関するお話をいただけるということになりましたので、広く市民の皆さんに呼びかけようと計画いたしました。本日はその第1部として、講演会という形をとらせていただいたわけです。

明日は、これを受け継ぎまして、それでは社会情報学へのステップとしては、このような起源や進化の問題をどのように受け止めていったらいいのか、パネル討論の形で討議しようと考えております。3人の先生方からは、その席で更に多くのことを吸収しようと考えております。

明日の会場はちょっと小さいく大体50人程度の会場になりますが、参加は自由ですので、是非ご参加下さい。チラシにもありますように、「人類はどこから来て、どこへ行くのか」というふうなタイトルになっていますが、今月の初旬にプレシンポとして学部の研究会で討議していく過程で、「どこへ行くべきか」という討議をとの期待も出されておりました。先程の岩田先生の講演では、だいぶ悲観的なお話がありました。それから、そうでないお話もございましたので、興味ある討論を展開できることと期待しているところです。是非、時間のゆるす方は、明日もご参加いただければと思います。

私たちの10周年記念の講演会に、お忙しい中をこのように大勢の方々にお集まりいただきまして、学部として大変ありがたく改めて御礼申し上げます。

ここでひとつコマーシャルをさせていただきます。私どもの大学の「大学徹底活用マニュアル



秋山雅彦 学部長

ル」という小冊子が2日ほど前に出来上がった参りました。大学や学部の様子が比較的わかりやすく書いてございます。もし、まだお手元にお持ちでない方は入り口の所に用意してございますので、お持ち帰りいただければと思います。今後ともご支援の程よろしく願いいたします。

三人の先生方には素晴らしいご講演をいただきましたことを重ねて御礼申し上げます。有り難うございました。